

事務局が現地取材した内容をお伝える
取材編、第2号です。

リレートークNo.10の保坂SCから、
秋田市北部5地区のSCで定期的に集まって
いると聞き、お邪魔させていただきました。

今回の取材内容

- ①近隣SC定期ミーティング（秋田市北部SCの皆さん）
- ②イオンでフレイル予防教室（寺内包括、土崎包括）

「クサレタマグラだな」と言われ… 最初は何をしたらいいかわからなかった

定期ミーティング

近隣SCで繋がる

始め方

定期ミーティングにお邪魔し、経緯などを取材していたところ「SCになって何から着手したか」という話題が興味深かったので、ご紹介します。（皆さんの紹介は裏面）

保坂さん

SCって何をやったらいいのかわかりづらい。
活動内容もだし、市への報告の仕方も最初はわからなくて。

夏井さん

法人内の異動でSCになったものの、最初はつかみどころがなくて。
今は楽しくて、天職だって思っています。楽しくないと続かない…これはサロン立上げを手伝う
時に地域の人にも言ってます。市の1層SCが「数値じゃない」「すぐ結果が出るものじゃない」と
言ってくれているのも大きい。

——結果が出るまでに時間が長くなる仕事ですよ。初めのうちは種まきが仕事だと他のSCさんから聞きました。

石塚さん

種まきと言っても、そもそもどれが種かわからない。優先順位のつけ方もわからなくて…全てが
手探りでした。私は地域を知ることから始めてみようと思い、圏域の地図を見て、町内の名前を
覚えたり、歴史伝承館に行って歴史を学んだりしました。

和泉さん

私はコロナ禍の年にSCになったので、何をどうしたら良いのかわからなくて…わからなかった
から「自分のやりたいこと」を考えました。自分も楽しめることを地域でやるとしたらどうだろ
う、って。そしたら賛同者が増えていってサロンに繋がりました。

夏井さん

SCは「これが役に立つかわからないけど、ついて行ってみる」って感じ。そこから活動に繋がる
こともある。ないことも多いけど。初めてサロンを立ち上げた時は、町内丸ごと協議体にして、その
中で資金計画とか考えて、1年かかって具体化しました。「それは協議体じゃない」という考え方
もあったし、迷いもあったけれど…自分のできることをやるしかないって思っていました。

加賀谷さん

私はとにかく地域に出て、顔とSCの活動を覚えてもらおうと思ったんですけど…あちこち顔を出
していたら、地域の人に「どこさでもいるな、クサレタマグラ※だな」と言われたんです…。流石
にちょっと落ち込みました。でも、「動いてるってこと、褒められたと思って」と励ましてもらって前向
きに捉えられるようになりました。

——そうに言われるくらい、あちこち足で回ったってことでもんね。

※ 秋田の方で「何にでも口出しする人、
何にでも首を突っ込む人」の意。

「フレイル」周知は、生活の場で

#フレイル予防教室

#企業と繋がる

#スーパー

「土崎イオンの中でフレイル予防教室をやっている」と聞き、見学させていただきました。



土崎イオンの食品売り場から広い通路を挟んで反対側、休憩コーナーの一角を借りて行っています。近くにATMや銘品売り場もあり、**人通りのある場所**です。

お邪魔した日は「スマホ教室」で、ソフトバンクのスマホアドバイザーが練習用デモ機を使って、基本操作を教えてくださいました。

企画・運営しているのは、寺内包括SC夏井さんと、土崎包括SC石塚さん。秋田市北部包括メンバーも手伝いに駆けつけています。

この場所での開催には、夏井さんの思いがあります。

夏井さん

フレイルという言葉すら知らない人がまだまだ多いです。

もっと知ってもらうには、**コミセンや研修室のような場所ではなく、もっと皆の目につく場所で教室をやらなくちゃ**、と思っていました。そんな時にテレビ番組で、店舗の一角でデイサービスをしている例を見て、これだ!と思いました。

土崎イオンのこの場所を見つけて、**ここでフレイル予防教室をやりたい!**と思い、土崎包括を誘ってイオンに話を持ち掛けました。

最初は、スーパーの中ではなく隣の建物の貸しスペースを紹介してくれたのですが、店舗の中で行いたいとお願いしました。**生活支援体制整備事業について説明資料を作って**、店長さんに包括までお越しいただいて、**プレゼン**しました。

店長さんは制度のことをわかってくださり、店舗内のスペースを無料で貸していただけることになりました。教室開催の日は、店長さんも様子を見に来てくれるんです。

この日も店長さんが教室の様子を見守りながら、時には手助けもしてくださっていました。

繋がりができて以来、気になるお客さんについて土崎イオンから包括へ相談が入ったり、それをきっかけに改めて店舗職員に認知症サポーター養成講座を開催することになったりと交流が続いています。

※許可を得て、企業名を掲載しています。

【取材メモ】秋田市北部SC情報交換会

- ・経緯：6～7年前
相談し合っているうちに集まることに
- ・頻度：決まっていないが年4回
(おおよそ季節ごと)
- ・時間：13-15時が多い
- ・場所：各センターで持ち回り
- ・内容：都度、話したいことを持ち寄り
(グループSNSで事前決定)

秋田市北部 SCの 皆さん

所属包括：お名前
包括受託法人
(SC経験年数)



飯島 和泉さん
(福)秋田中央福祉会
(5年目)



寺内 夏井さん
(福)秋田県厚生協会
(4年目)



外旭川 保坂さん
(医)惇慧会
(2年目)



下新城 加賀谷さん
(医)久幸会
(2年目)



土崎 石塚さん
(医)正和会
(1年目)